

重要取組シート

健康福祉局 障害福祉部 障害施策推進課

取組項目		障害特性に応じた多様な就労支援
現状・課題		<ul style="list-style-type: none"> 令和 4 年度に実施した堺市障害者等実態調査の結果では、18 歳以上 59 歳以下で働いていない障害者に限定すると、40%以上の方が「働きたいと思っている」と回答。 本市では、市内 2 か所の障害者就業・生活支援センター（エマリス堺・エマリス南）を中心に、ハローワークや地域の就労支援機関等と連携し、障害種別や個々の特性に応じた総合的な就労支援・就労定着支援を継続的に実施している。 令和 5 年度から同センターにて、障害者の職場体験実習先の開拓、障害者の就労系サービス事業所及び企業への働きかけを行う「実習先開拓・マッチング支援事業」を継続的に実施している。 令和 7 年 10 月に、障害者の希望や就労適性等に合った就労先・働き方の選択を支援する新たな障害福祉サービスとして、就労選択支援が創設された。 障害者の法定雇用率の改定により、民間企業の法定雇用率は、令和 8 年 7 月から 2.5% から 2.7%へ引き上げられる。 就労系サービス事業者数は以下の通り（令和 8 年 4 月、速報値） <ul style="list-style-type: none"> 就労定着支援 15 事業所 就労移行支援 20 事業所 就労継続支援 A 型 20 事業所 就労継続支援 B 型 201 事業所 就労選択支援 4 事業所
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> 障害者就業・生活支援センター（エマリス堺・エマリス南）による総合的な就労支援・就労定着支援を継続的に実施する。 同センターによる「実習先開拓・マッチング支援事業」を継続的に実施する。 就労移行支援事業所の訓練内容等を市 HP 等に掲載して、就労に向けた入り口の判断材料として、就労移行支援事業所の訓練内容等の見える化を実施する。 障害者雇用に関する情報交換、障害者雇用の理解啓発の促進を目的とした就労促進セミナーを開催する。
スケジュール	前期 (～9月)	<input type="checkbox"/> (4 月～) 障害者就業・生活支援センター（エマリス堺・エマリス南）による総合的な就労支援・就労定着支援の継続実施 <input type="checkbox"/> (4 月～) 同センターによる「実習先開拓・マッチング支援事業」を継続的に実施 <input type="checkbox"/> (8 月) 就労促進セミナー（支援者向け）の開催 <input type="checkbox"/> (9 月) 就労移行支援事業所の訓練内容等の見える化の更新
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> (～3 月) 障害者就業・生活支援センター（エマリス堺・エマリス南）による総合的な就労支援・就労定着支援の継続実施 <input type="checkbox"/> (～3 月) 同センターによる「実習先開拓・マッチング支援事業」を継続的に実施 <input type="checkbox"/> (12 月) 就労促進セミナー（企業向け）の開催
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 障害者就業・生活支援センター（エマリス堺・エマリス南）による総合的な就労支援・就労定着支援の継続実施 <input type="checkbox"/> 同センターによる「実習先開拓・マッチング支援事業」の継続実施 <input type="checkbox"/> 就労促進セミナーの継続開催

進捗の状況	前期 (～9月)		
	後期 (～3月)		
2030 堺市基本計画	該当する 施策	2- (4) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
	寄与する KPI	福祉施設から一般就労への移行者数 【現状値：290人（2024年度）】	目標値（2030年度） 398人
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 10	人や国の不平等をなくそう
	寄与する KPI	-	目標値（2030年度） -